

令和4年度

# 繋がり・学び・挑戦を生む コミュニティスペースまきば

事業名

みんなで育てるコミュニティスペース「タネマキ  
ハウス（仮称）：現 Library&Kitchen まきば」事業

組織名

みかめやってみん会



## 01 事業の背景

どうしても「まちづくり」は政治や行政、インフラ整備など自分とは離れた他人事感が強くなってしまいう中で、自分の好きなことや得意なことを活かしながら、まちに関われる場所の必要性を感じていた。また、小中高校生から年配世代まで世代を超えて日常的に集まれる場所をつくりたいという思いから始まった。

## 02 事業の概要

DIYワークショップを通じて、地域の方と共に「本と食」を中心とした私設図書館 兼 キッチンスペースを作り、世代を超えたつながりと学びの場、新たな住民主体の取組が生まれていく拠点づくりを行う。

### 03 事業の目標

拠点づくりのワークショップを5回実施し、100名以上の住民が参加すること。また、オープン後には月50名以上のスペース利用を目標とし、イベントの実施やレンタルスペースとして活用していくことが目標。

### 04 事業の成果

拠点づくりを行う過程で、壁塗装、本棚づくり、タイル絵付け等のワークショップを6回実施し、のべ257人の方に参加していただいた。オープンは当初の想定よりも大幅に遅れたが、オープン後は週2~4日程度、小中高生やご年配の方などにご利用いただき、半年間でのべ来館者数1000名を突破した。その他にもマルシェイベントの開催、定期的な映画上映会等のイベントに活用されている。また、週1回の小学生向け教室でのレンタル利用や棚貸しをしている本棚のオーナーなど多様な関わり方が生まれつつある。

### 05 こんなこと学びました!

一緒につくっていくことで気づけば、まちの方から差し入れを頂いたり、自作看板や物品の寄贈をさせていただいたり、手作り感や手触り感のある場所になっていった!

危機感や焦燥感、諦めではなく、楽しい気持ちから始めることで、アイデアが生まれ、繋がりが生まれ、愛着のある場になっていくと感じた!



### 06 今後の展望

私設図書館として本棚オーナー制度やレンタル活用等で持続可能な運営形態を目指す。形態や使い方など理解されにくい部分を分かりやすく伝えながら、より多くの方に多様な関わり方をしてもらえるような場所にしていくことが今後の課題。

### 07 最後にひとこと!

誰でも気軽に利用してもらえる、誰かの居場所に、誰かの活躍の場になっていくことを願っています。

ぜひ、遊びに来てください!



#### 事業費の内訳

総事業費

3,914,335円

歳入

費用	金額	備考
交付金	2,000,000	
地元負担金	8,335	
県補助金	1,906,000	
合計	3,914,335	

歳出

費用	金額	備考
委託料	220,000	
工事費	1,666,000	
消耗品費	503,785	
備品購入費	1,524,550	
合計	3,914,335	